

シンポジウム 2

千葉県歯科医師会における委託歯科健診

堀川 早苗

一般社団法人千葉県歯科医師会地域保健委員会



<略歴>

昭和 62 年 東京歯科大学卒業

平成 5 年 東京歯科大学大学院修了（小児歯科学）

歯科医院勤務を経て

平成 25 年 おだか小児歯科開業

日本専門医機構 小児歯科専門医

東京歯科大学小児歯科学講座 非常勤講師

一般社団法人千葉県歯科医師会 理事（地域保健担当）

抄録

千葉県歯科医師会では10の団体より委託を受けて、団体所属の本人や家族の歯科健診を行っています。健診は一か所に人を集めて行う集団方式ではなく、会員の中から健診協力医を募り、協力医の診療所で個別に健診を行う個別健診方式を採用しています。8つの団体で同一の健診票を用いることで、健診の効率化と協力医が混乱することを防いでいます。また本健診システムが確立していることで、新たに申し込みのある団体にはこのシステムに参入していただくだけで、スムーズに受診できるようになっています。

後期高齢者歯科健診では、歯の状態と歯周病の状態の検査に加えて、口腔機能検査も行っています。当初は受診者一万人を目指して始まりましたが、平成30年に目標人数を突破し、コロナ禍で一時受診者は減りましたが昨年度は12,000人を越え、受診率も常に13～14%という、他の健診に比較して多い受診率となっています。

本講演では千葉県歯科医師会に委託されている歯科健診について、特に後期高齢者歯科健診をご紹介します。